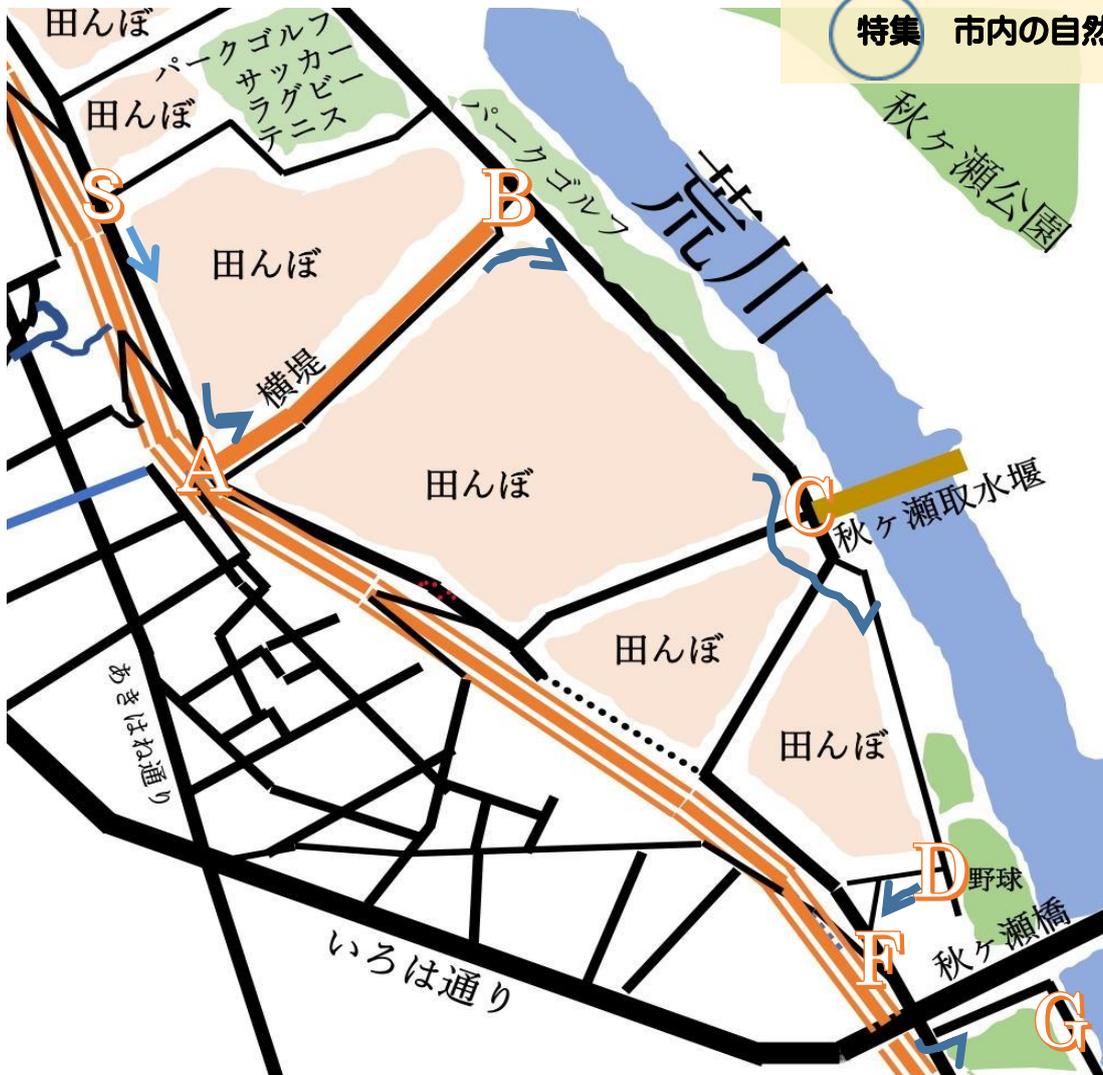


荒川堤外 秋ヶ瀬運動公園南側

NPO法人エコシテイ志木事務局長

青木 明雄

自然を訪ねて！



今回は、前回と同じ荒川堤外ですが、「志木の生きもの調査」のコースに入っていない秋ヶ瀬運動公園の南側の自然を訪ねることにします。前回コースの続きという事で、土手下のパークゴルフ入口から下流に向かっていきます。横堤までの間は田んぼですが、荒川の水路側にある通りとの間には、休耕田となっていてカヤが茂っているところがあり、周辺では、キジを見ることができます。また、冬にはタゲリも集まっていることがあります。
(YouTube「荒川のタゲリ」)

横堤は、荒川独自の治水構造物で、広い河川敷とによる遊水機能を高めると共に、下流への流量調節の為に作られた堤です。この上を歩いていくと、左右の田んぼがよく見えます。中程から先の両側の田んぼには、良くキジの姿を見ることができます。また、上空をトビなどが行き来することが多く、堤の高さもあり、比較的近くで見ることができます。



今年も10羽以上のタゲリが来ていました



横堤の上から

横堤の先の道路を下流側へと進みます。通りの左側は、比較的新しく整備されたパークゴルフコースです。右側には、田んぼが広がっています。まだ水の張っていない田んぼを耕運機で耕していると、いろいろな鳥が、耕した土から出てきた獲物を狙って後をついて回っています。ムクドリ、ハクセキレイ、ツグミ、タゲリ、スズメなどが沢山集まってきます。今は、白鷺類は全くいません。真っすぐ進んでいくと秋ヶ瀬取水堰があります。残念ながら、今は、工事中の為、通り抜けられませんの



秋ヶ瀬取水堰

で注意。この堰には、冬になると数百羽の冬鳥がやってきます。ホシハジロ、キンクロハジロ、カン



ホシハジロ・キンクロハジロと
カンムリカイツブリ

ムリカイツブリなどが沢山来ています。市内では、ここでしか見られません。

秋ヶ瀬取水堰から更に下流側に進んでいきますが、右側には田んぼが広がり、田んぼの真ん中を用水路が流れています。もう40年以上も前になりますが、この水路に沢山のホタルが飛び交っていました。左側の荒川の水路側には、ジョギング広場や少年野球場があります。秋ヶ瀬取水堰に集まっていた水鳥たちは、この辺りまで泳いできて集まっていることもあります。田んぼ側の道路脇には休耕田となったところにカヤが生い茂っており、春すぎには、オオヨシキリがやってきて、賑や

かに鳴いているのをよく見ました。道路脇の為、間近に観察できる場所ですが、今年はどうでしょうか？



荒川のオオヨシキリ

田んぼが切れたところを右に曲がっていくと未舗装の道となっていて、用水路を渡り土手下の広い道路に出ます。この用水路脇には、未舗装の道があり、アシやオギ等の背丈のある草が沢山生え、



田んぼの中の用水路

カシラダカなどの鳥もやってきます。今では柳瀬川や新河岸川の河川敷にびっしりと生えるナヨクサフジもここには早くから生えていました。

土手下の道路を通って、秋ヶ瀬橋を潜るとグラウンドがあります。手前を左に曲がって、荒川の水路側に出ると、かつて運行されていた水上バスの秋ヶ瀬栈橋があった場所に出ます。



秋ヶ瀬栈橋跡

秋ヶ瀬橋下の水路の周辺は、人も入りにくい藪となっていて、いろいろな生きものの棲みかとなっています。ここまでが志木市です。